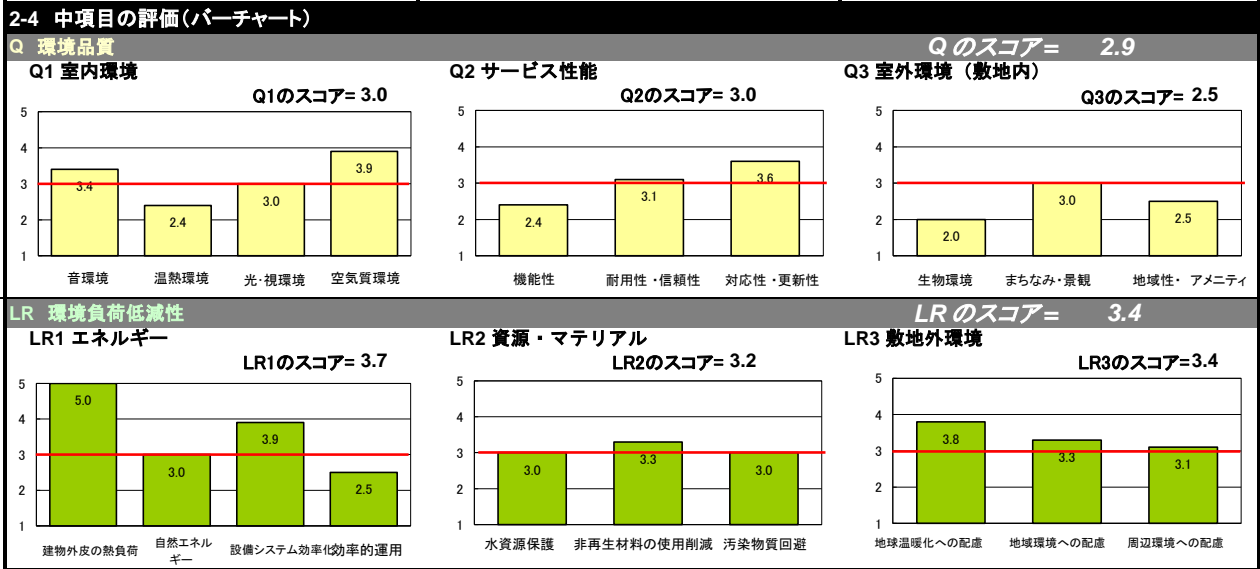
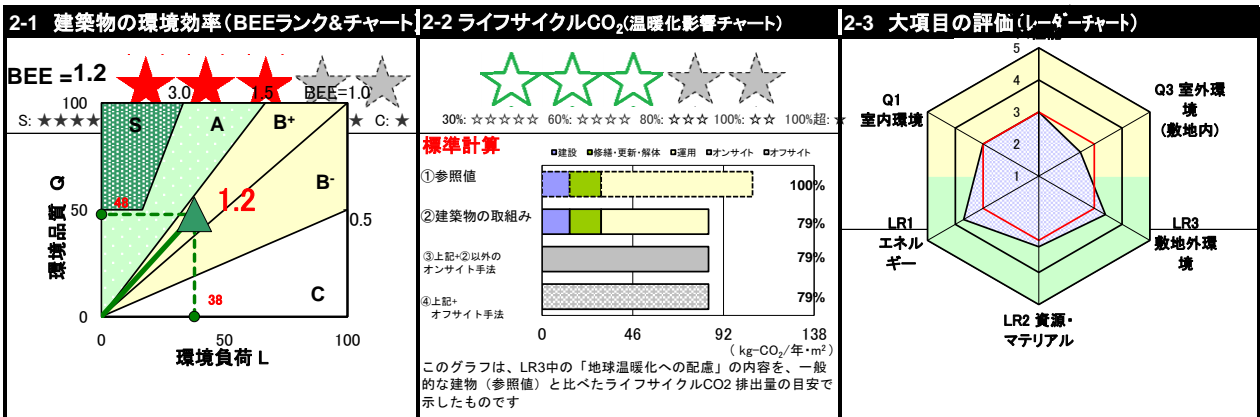


■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|------------------------|--------|------------------|
| 建物名称 | 住原製作所藤沢事業所 精密コンポネント実験棟 | 階数 | 地上2F |
| 建設地 | 藤沢市本藤沢4丁目4720 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 工業専用地域、法第22条区域 | 平均居住人員 | 20人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 2,083時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 事務所 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2019年6月 予定 | 評価の実施日 | 2018年3月19日 |
| 敷地面積 | 1,880 m ² | 作成者 | 清水建設株式会社一級建築士事務所 |
| 建築面積 | 1,013 m ² | 確認日 | 2018年3月19日 |
| 延床面積 | 2,076 m ² | 確認者 | 清水建設株式会社一級建築士事務所 |



| 3 設計上の配慮事項 | | |
|---|--|---|
| 総合 | その他 | |
| <p>窓システム (Low-E複層ガラス) : SC=0.5, U=2.6, 外壁 (サンドイッチパネル) : U=0.5, 屋根 (ダブル折版) : U=0.4とし、外皮性能を高めている。</p> | | |
| <p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昼光率を高めに設定している。 ・F☆☆☆☆建材をほぼ全面的に採用している。 ・全館禁煙で屋外にも喫煙コーナーを設けていない。 | <p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天井高さを3m以上と計画し、リフレッシュスペースは執務スペースの1%以上としている。 ・空調・給排水配管の上位3種は耐用年数40年以上の配管を採用している。 | <p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> |
| <p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒートポンプの高効率空調設備、LED照明設備を採用するなど設備システムの高効率化に配慮している。 | <p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル資材を採用している。 | <p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフサイクルCO₂排出率=79% ・燃焼器具を使用していない。 ・広告物照明を行っていない。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される